

平小学校の出前授業

1. 対象：5年生
2. 実施日：2020年12月21日（月） 2時限～4時限
3. 授業の内容

講義：「地球温暖化とは ― 見て、触れて、感じて」

体験：①手回し発電体験

- ・豆電球の数と発電の負荷の違いを感じる・・・節電の大切さを知る
- ・実際の電球の種類別の発電の負荷の違いを感じる

②電球の種類によるCO₂の排出量、電気代の測定、電球の熱さの違い体験

③風力発電の発電体験

④火力発電の模型を動かし、電気を使うと何故CO₂を排出することになるかを知る

⑤温暖化模型でCO₂の有無での温度の違いを体験・・・CO₂の排出量を減らすことの大切さを知る

4. 授業の様子

温暖化の言葉は、断片的には知っている様なことは、子ども達の反応で知ることが出来ました。体系的にはこの授業で理解してくれると期待して講義を開始しました。

テレビを使っての「地球温暖化」で日本・世界で起こっている様々な現象を写真で示し理解を深めた。そう上で、地球温暖化の仕組みを解説し、それが自分達が知らず知らずに電気や水道や自動車などを利用することで排出しているCO₂が原因で有ることを理解してもらいました。今後もCO₂を排出し続けると大変な世界になることを知ってもらいました。

講義の後の体験では、目を輝かせて熱心に手回し発電機を回したり、うちわで風力発電機を回したりして簡単には電灯が点かないこと等を体験してもらいました。また、少量のCO₂が入ることで気温が上がることも確認してもらいました。

これらの体験をすることで、普段の節電や節水などの取り組みに繋げてもらえればと思い、学校を後にしました。



講義の様子



体験の様子